

## 成田よしのりの、誇りを持てる街づくり案の一部です。

### 災害に強い街づくり

#### ☆レジリエンス（強靭さ）のあるインフラ整備を図ります。

→排水対策や日常の危険な道路をはじめ、災害時でも安心できる街づくりに努めます。また、リダンダンシー（冗長性、代替性）も意識し、政治の根幹である生命財産を守るための基礎強化を図ります。

#### ☆BCP（業務継続計画）の策定を図ります。

→今までの行政が行う災害対策は、市役所自体が被災する事を想定していませんでした。市役所が被災しても、行政の機能が低下をしないように、事前の準備を図ります。

#### ☆行政防災無線と市政だよりや回覧板等の「見えない」「聞こえない」を無くしていきます。

→情報の伝達が、平時も大切ですが、特に災害時に情報が届かない事がないよう、改善を図ります。

#### ☆災害時ボランティアの発掘を推進します。

→既存の組織だけではなく、潜在的な市民力を引き出して、細やかな対応を備えます。

### 真正面から議会の体質改善

#### ☆執行部（市役所）に反問権（反論権）を図ります。

→一方通行の質問だけではなく逆質問をできるようにして、結果を出す議論の場へと議会を改善します。

#### ☆議会報告会の実施により、「身近な議会」へと変えていきます。

→「議会が何をしているか分からない」という声をしっかりと受け止め、議会の説明責任を果たします。

### 持続可能な行財政運営

#### ☆行政の事業を目的ベース（事業単品という木と森を同時に見る）での見直しを図ります。

→これにより、事業の統廃合や改善を進め、効率かつ効果的な行財政運営を図ります。

#### ☆市内への転入促進を図るための住環境整備を図ります。

→産業育成と共に、四街道市を生活の場として選びたくなるような、交通体系や住環境の整備をします。

#### ☆次期ごみ処理施設の解決に努めます。

→普段のごみ出しに支障を出さないためにも、クリーンセンターの次期ごみ処理施設の解決に努めます。

### もっと四街道が好きになる街づくり

#### ☆年配の方や子育て世代への日常の交通手段として、ミニヨッピー（仮称）の導入を目指します。

→ヨッピーの大きさでは進入できない道路も多くあるため、ミニヨッピー（仮称）の導入を目指します。

#### ☆緑豊かな自然環境を保全します。

→ビオトープの整備や農業対策等で、経済と環境の両立を図ります。目指すは蛸が2倍生息できる環境を。

#### ☆スポーツの振興を図ります。

→グランドゴルフ場の整備をはじめ、スポーツをしやすい、したくなる環境づくりを推進します。

#### ☆地域経済の活性化を図ります。

→活気のある街づくりのために、買いやすい、買いたくなる商店街への支援を進めます。

#### ☆コミュニティビジネスの推進を図ります。

→行政だけでもボランティアだけでも難しい課題の解決を図るため、地域の力を発掘します。

### 安心して子どもを産み育てられる環境整備

#### ☆市内保育施設及び学校の環境整備推進を図ります。

→校庭、園庭の芝生化や教室内の空調設備等を整えると共に、知育徳育体育及び食育の充実を図ります。

#### ☆放射線対策を推進します。

→まず私自身が、今後も放射線量や放射性物質の検査等を継続して、安全の確保に努めていきます。

#### ☆地方議会からもデフレ対策を要求します。

→子どもを安心して産み育てられるよう、不況の原因であるデフレ対策を国政に強く要求していきます。